

白石町地域公共交通活性化協議会

平成21年3月5日設置
平成22年3月連携計画策定



概要

平成17年1月の町合併に伴い、新町一体化の強化、町の広域化に対応出来る生活交通手段の確保を目的として、平成17年10月から町内コミュニティタクシーの運行を開始した。本町において、コミュニティタクシーの必要性が高まっている一方で、運行に係る町の財政負担は多大なものとなってきていることから、抜本的な運行形態の見直しが急務の課題となっている。

○いこカーの運行路線再編

いこカー(既存の町内コミュニティタクシー)の利用状況を考慮した上で、現在のサービス水準を維持しながら、路線の再編やデマンド運行への移行等、より効率的な運行形態を決定する。

○デマンド運行システムの実証運行

利用者が少ない地域でのデマンド運行の方法や可能性の検討をもとに、実証運行ルートを決し、既存コミュニティタクシー路線の再編にともない実証運行を開始する。

○公共交通利用促進のための広報の実施

公共交通利用促進のため、町広報誌や町同報無線等による周知活動、町内組織を通じた利用呼びかけ等を行う。

○公共交通利用促進イベントの開催

主にいこカーやデマンド交通システムの利用促進イベントを実施し、町民の公共交通に対する意識向上と利用啓発を図る。

町内公共交通イメージ及びデマンドエリア図

